

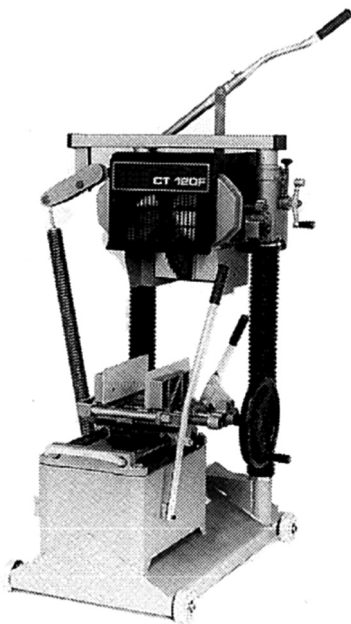
HiKOKI

ほぞ取り

365 mm CT 120F

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ほぞ取り使用上のご注意	5
各部の名称	7
用途	9
仕様	9
付属品	10
作業前の準備	10
ご使用前に	13
操作方法	14
加工方法	16
のこ刃の取付け・取りはずし	18
のこ刃の調整方法	20
運搬・移動	21
保守・点検	23
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。**
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

警告

- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合は、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

ほぞ取り使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ほぞ取りとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **本機は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、モーターの焼損、破損およびけがの原因になります。詳細は、13ページの「1. 使用電源を確かめる」の項を参照してください。
- ② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。詳細は、11ページの「2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。
- ③ **のこ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。**
範囲外ののこ刃を使用するとけがの原因になります。
- ④ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ **継ぎ（延長）コードを使用するときは、アース（接地）線を備えた3心（三相品は4心）キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース（接地）線のない2心（三相品は3心）コードですと、感電の原因になります。
- ⑥ **安全カバーは、絶対に固定しないでください。**
また、円滑に動くことを確認してください。刃物が露出したままですと、けがの原因になります。
- ⑦ **使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⚠注意

- ① のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 本機使用中には、手袋の着用はさけてください。
手袋をして作業しますと、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ④ 作業前に、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると、けがの原因になります。
- ⑤ 木材に釘などの異物がないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑥ 切断しようとする木材の前方に手を置いたり、コードを木材の上ののせたまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑦ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。

各部の名称

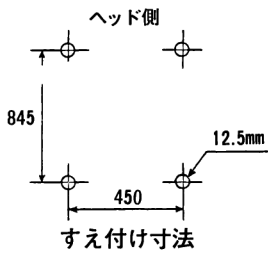
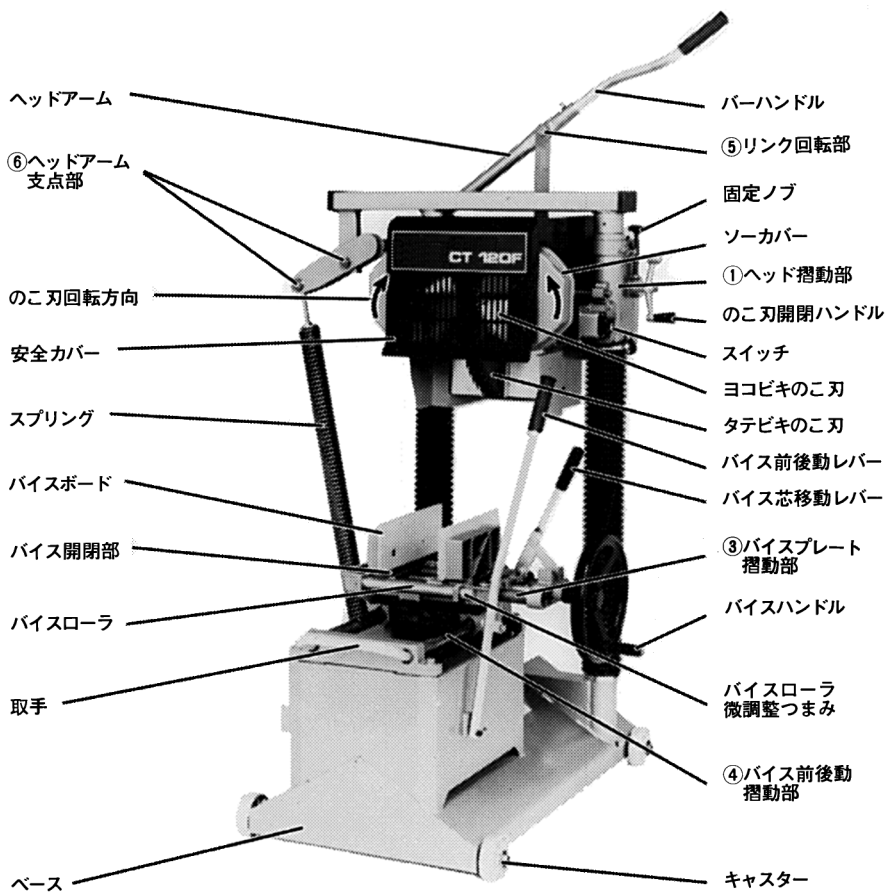


図 1

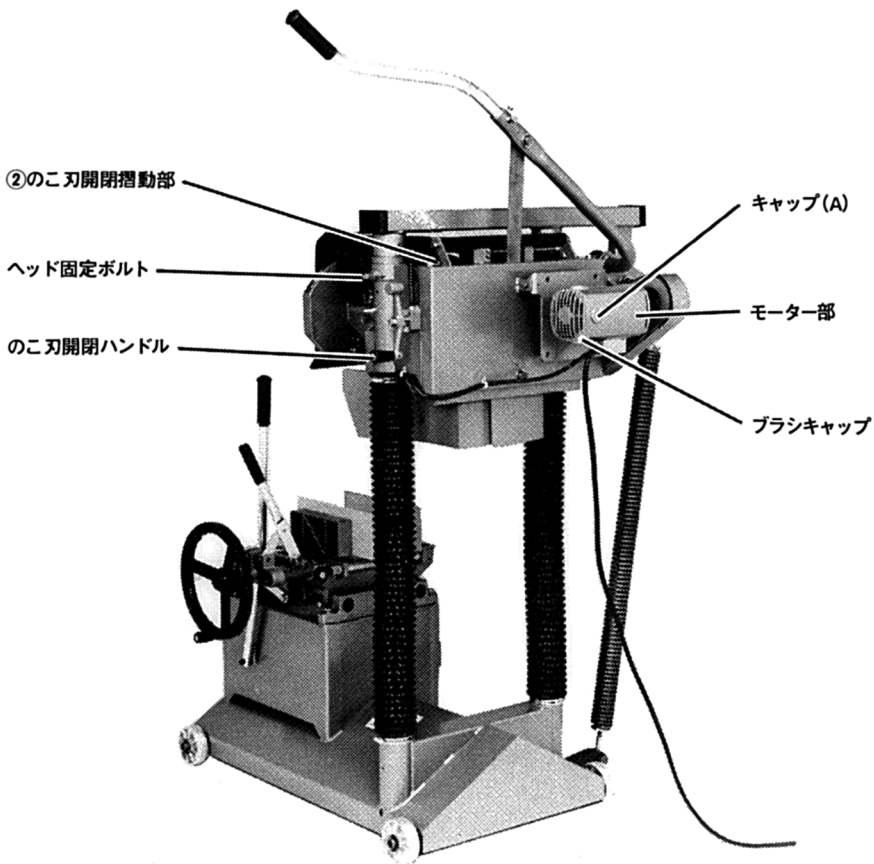
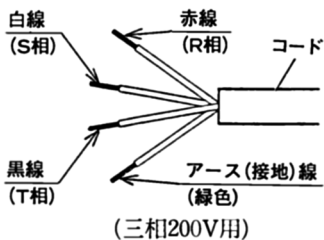
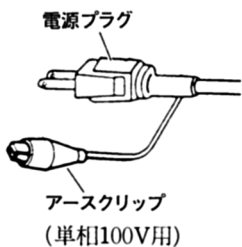


図 2

注 • 図 1, 2 において①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥はとくに大切な注油場所を示します。



用 途

木造建築のほぞ取り作業。

仕 様

項 目	CT120F(1P)(单相)	CT120F(3P)(三相)
使用電源	単相交流 50/60Hz共用 100V	三相交流 50/60Hz共用 200V
切削能力	幅0~120×長さ365×高さ450mm	
最大切削材料	幅215×高さ450mm	
モーター	単相直巻整流子モーター	全閉外扇形2.2KW4極モーター
定格電流	15A	9.8/8.8A 50/60Hz
のこ刃寸法	タテビキ 外径345×厚さ2.0×穴径25.4mm 歯数40 ヨコビキ 外径216×厚さ1.4×穴径25.4mm 歯数40	
無負荷回転数	タテビキ 1000min ⁻¹ {1000回/分} ヨコビキ 1500min ⁻¹ {1500回/分}	1000/1200min ⁻¹ {1000/1200回/分} 50/60Hz 1500/1800min ⁻¹ {1500/1800回/分} 50/60Hz
機体の大きさ	幅1310×長さ1280×高さ1800mm	
すえ付け寸法	幅450×奥行845mm	
質 量	160kg	185kg
コード	3心キャブタイヤケーブル 5m	4心キャブタイヤケーブル 5m

付 属 品

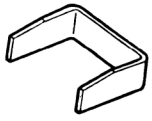

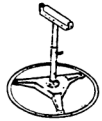
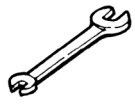
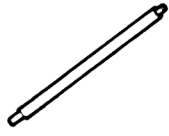

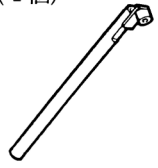
<p>① キャスターストップ (1個)</p>  <p>使い方は10ページ参照</p>	<p>② 4極プラグ (1個)</p>  <p>使い方は11ページ参照</p>	<p>③ 補助ローラ (1式)</p>  <p>使い方は12ページ参照</p>	<p>④ 両口スパナ (13×17mm) (1個)</p>  <p>使い方は14, 19, 20, 21, 25ページ参照</p>
<p>⑤ 棒スパナ (1個)</p>  <p>使い方は18, 19ページ参照</p>	<p>⑥ L形レンチ (1個)</p>  <p>使い方は18, 19ページ参照</p>	<p>⑦ スパナハンドル (1個)</p>  <p>使い方は18, 19ページ参照</p>	

図 3

注 • CT120F (1P) 単相の製品には② 4極プラグは付いておりません。

作業前の準備

ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. す え 付 け ……

(1) 傾斜のない平坦な場所へ、安定した状態にすえ付けてください。

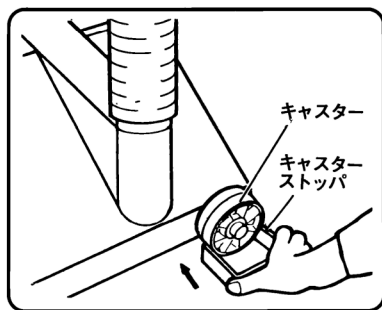


図 4

(2) キャスターに付属のキャスターストップを入れ、固定してください。

2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認 ………

⚠ 警 告

- アース（接地）線をガス管に取付けると爆発のおそれがあります。絶対にしないでください。

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下漏電しゃ断器と言います。）が設置されているか確認してください。

また、本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアース（接地）されるようおすすめします

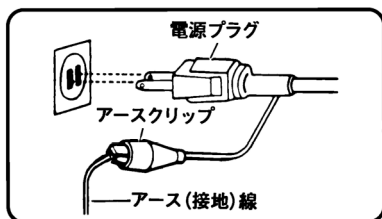


図 5

アース（接地）するときには、左図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ、アース（接地）線は念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと本機金属枠との間の導通を確認してください。

地中にアース極（アース板、アース棒）を埋めアース（接地）線を接続するなどのアース工事は電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

3. 電源プラグの接続とアース（接地）（三相品） ………

⚠ 警 告

- アース（接地）線をガス管に取付けると爆発のおそれがあります。絶対にしないでください。

電源プラグとコードの接続は次のようにしてください。

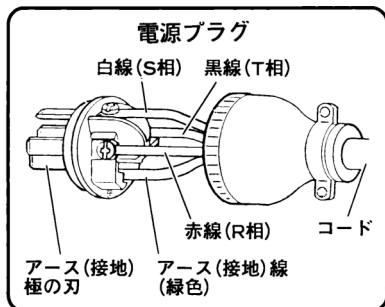


図 6

(1) アース（接地）極の刃にコードの「アース」または、「E」と表示してある緑色の線を接続してください。

(2) 電源プラグを電源にさし込んだときに、赤線がR相、白線がS相、黒線がT相となるように電源プラグに接続してください。

(3) アース（接地）極の刃、アース（接地）線（緑色）は、念のために断線、接続不良がないことを確認してからご使用ください。

なお、テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アース（接地）極の刃と本機金属枠との間の導通を確認してください。

4. 継ぎ(延長)コード ………

△ 警 告

- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎ(延長)コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

心線断面積	最大長さ
2mm ²	15m
3.5mm ²	30m

左の表は、コードの太さ(心線断面積)によって本機に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因となります。

継ぎ(延長)コードは必ずアース(接地)できるアース(接地)用の1心をもつ3心(三相品は4心)キャブタイヤケーブルをお使いください。

5. 補助ローラの取付け ………

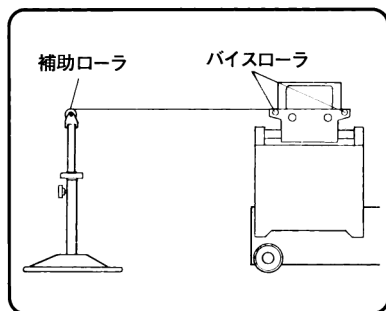


図 7

木材を安定して保持するため、補助ローラをすえ付けてください。長尺材加工の場合は必ず必要です。

補助ローラの上面は、バイスローラ上面と同じ高さになるよう調整し、また補助ローラとバイスローラの中心が一致するようにしてください。

6. 作業環境の整備・確認 ………

作業する場所が2ページ「電動工具の安全上のご注意」の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確かめてください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、電源プラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる ………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターが破損するおそれがあります。また、直流電源、エンジン発電機および昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品が故障するだけでなく事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる ………

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。

3. のこ刃の締付けを確かめる ………

工場で組立ての際は、すぐにご使用できるように、のこ刃を締付けてありますが、念のため締付けが確実か確かめてください。

詳しいことは18～19ページ「のこ刃の取付け・取りはずし」の項を参照ください。

4. 保護おおいを確かめる ………

保護おおい（安全カバー、ソーカバーなど）は災害防止のためのものです。各カバーは所定の位置へ確実に取付けてください。

5. のこ刃の回転方向を確かめる（三相品） ………

⚠ 警 告

- 電源への接続のしかたによっては逆転します。反対にまわり続けると、のこ刃締付けボルトがゆるみけがの原因になりますので、すぐにスイッチを切ってください。

スイッチを入れたとき、ヨコビキのこ刃がソーカバー（図1参照）に表示した矢印の方向に回転することを確認してください。

反対にまわる場合は、一度スイッチを切り、電源プラグを電源から抜き、コードの赤線（R相）と黒線（T相）をつなぎ替えてください。

6. 電源コンセントの点検 ………

電源プラグをさし込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

操作方法

1. のこ刃の開き調整 ………

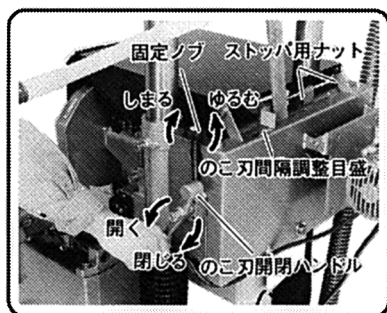


図 8

(1) のこ刃の開きはのこ刃開閉ハンドルで調整します。

(2) 左へまわすと開き、右へまわすと閉じます。

(3) のこ刃開閉ハンドルをまわし、ストップ用ナットが突き当たった時、希望のほぞ幅になるよう調整します。

ストップ用ナットは付属の両口スパナ（13mm）でまわします。のこ刃間隔調整目盛は、のこ刃間隔を示し、例えば目盛が3を指していれば、のこ刃間隔30mmを示します。

(4) ノミカクシ作業（17ページ「4.ノミカクシ加工」の項参照）も同様にして設定します。

注 • 設定後は、固定ノブで確実にのこ刃開閉ハンドルを固定してください。固定しないと、ほぞ寸法が合わない場合があります。

2. バイス移動方法 ………

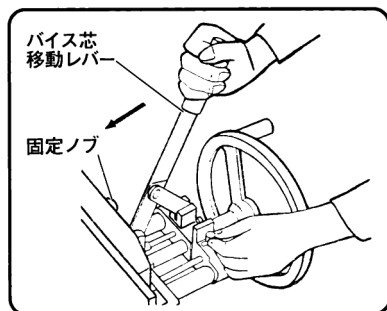


図 9

のこ刃の芯とバイスの芯は通常合っています。

のこ刃に対し、バイスの芯を左側へ寄せる場合は次の手順で操作します。

(1) 固定ノブをゆるめます。

(2) バイス芯移動レバーを矢印の方へ押すと左側へ移動します。

(3) バイスを芯に戻す場合、バイス芯移動のレバーを手前に引き、ストップにつきあててください。芯移動量は左45mmです。

3. 木材の位置決め ……………

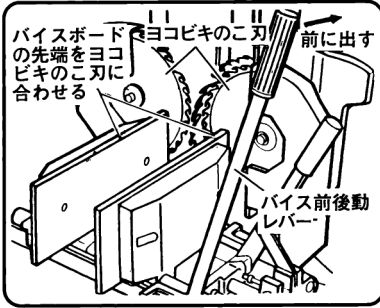


図 10

- (1) バイスボードの先端をヨコビキのこ刃に合わせてください。

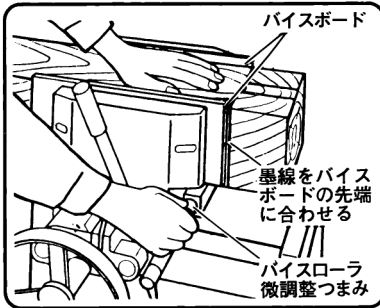


図 11

- (2) バイスに木材をくわえ墨線をバイスボードの先端に合わせます。
- (3) 微調整は、バイスローラつまみをまわし、木材を移動させてバイスボードの先端に合わせます。

4. 木材の締付け ……………

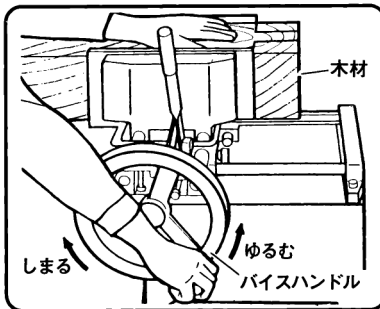


図 12

- (1) バイスハンドルで締付けます。
- (2) 右へまわすとしまり、左へまわすとゆるみます。

注 • 木材はバイスハンドルで確実に締付けてください。

加工方法

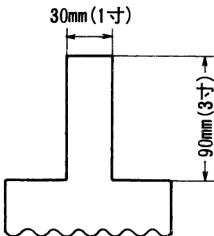
⚠ 警告

- 木材を確実に締付けてあることを確認してください。
- 木片がベース上に残ったまま使用しますと木片が飛散し、機械を損傷させるだけでなくけがの原因になりますので、常によく取り除いてください。(図17参照)
- 作業が終わったら必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

ほぞ取り作業の適正切削時間

モーターに無理がかからず、切削面および精度の良いほぞ加工するために適正な切削時間があります。

図13を参考とし、ほぞ取り作業をしてください。



加工材の大きさ	切削時間	
	単相品	三相品
4寸角材	8～10秒	4～6秒
5寸角材	12～14秒	6～8秒
幅5寸×高さ1尺材	20～22秒	10～12秒
幅5寸×高さ尺5寸材	30～32秒	15～17秒

図13

1. 平ほぞ加工 ………

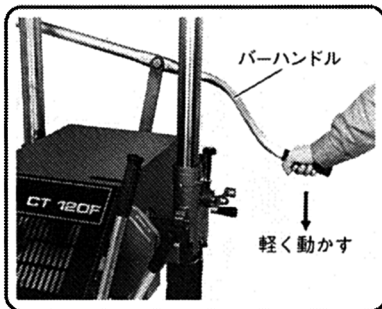


図14

- (1) この刃の開きを希望の位置に合わせます。
- (2) 木材の墨線をバイスボードの先端に合わせ、木材の位置決めをします。
- (3) バーハンドルを軽く下方へ動かして加工します。

注 • 切削作業は、バーハンドルを軽く動かし衝撃をあたえないでください。

2. 加工材高さが390mm以上の木材の加工方法 ……………

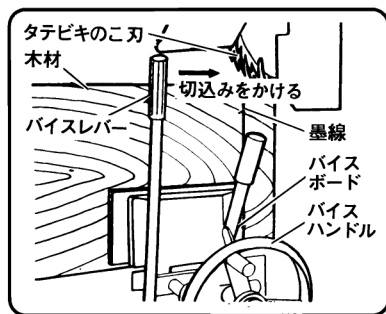


図 15

- (1) バーハンドルを上方へ動かして、ヘッドを最上位置に上げます。
- (2) 木材の墨線をバイスボードの先端に合わせ、木材をバイスハンドルで確実に締付け、タテビキのこ刃にあたらぬ位置までバイスを後退します。
- (3) スイッチを入れ、のこ刃をまわします。
- (4) バイスレバーを手前に引いて、木材に切込みをかけます。
- (5) バーハンドルを下げ、ヘッドを下降させ切削します。

3. 長ほぞ加工 ……………

ほぞ長さが132mm以上の長ほぞ加工をする場合は、次の手順で作業してください。

- (1) のこ刃の開き、木材の位置決めは、平ほぞ加工(16ページ「1.平ほぞ加工」の項参照)と同様です。
- (2) タテビキのこ刃の切込み量が132mm以下になるようバイスを後退させてください。
- (3) 長さに応じてバイスを前進させ、2回または3回に分けて加工してください。

4. ノミカクシ加工 ……………

- (1) 平ほぞ加工(16ページ「1.平ほぞ加工」の項参照)後の木材をバイスからはずします。
- (2) 木材を90°反転し、ヨコビキのこ刃で加工した面をバイスボードの先端に合わせます。
- (3) のこ刃をのみかくし寸法に開き加工します。

5. 片ほぞ加工 ……………

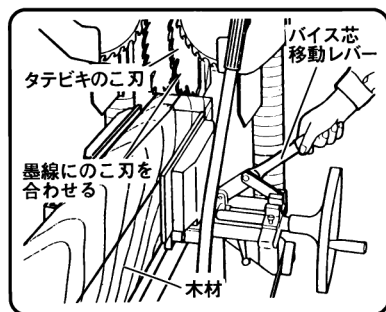


図 16

- (1) のこ刃の開きを、木材幅の半分よりやや多目に開きます。
 - (2) 芯移動レバーを操作し、墨線をタテビキのこ刃に合わせ加工します。
- 片ほぞ加工できる最大木材幅は150mmです。

注 • のこ刃移動後は固定ノブ(図8参照)を確実に締付けてください。

8. ベース上の木片の排除 ………

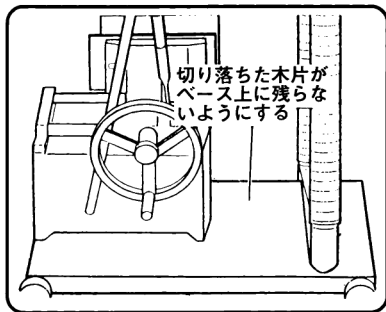


図 17

ベース上にたまった木片は必ず取り除いてください。

ベース上にたまったまま作業しますと木片がタテビキのこ刃に巻込まれ機械を損傷させるだけでなくけがの原因になります。

のこ刃の取付け・取りはずし

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。
- L形レンチをスパナハンドルにさし込んだときは、十分にさし込まれていることを確認してください。L形レンチがはずれるとけがの原因になります。

1. タテビキのこ刃について ………

1.1 タテビキのこ刃の取りはずし

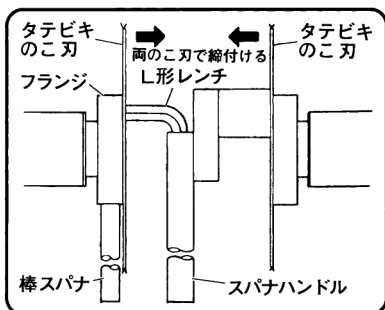


図 18

- (1) フランジを付属の棒スパナで固定します。
- (2) 付属のL形レンチを付属のスパナハンドルにさし込み、のこ刃取付けねじに取付けます。
- (3) スパナハンドルを両のこ刃で締付けます。

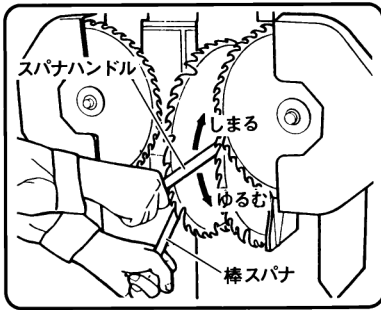


図 19

(4) スパナハンドルをこの刃の回転方向にまわし、ねじをゆるめます。右側のこの刃は左ねじ、左側のこの刃は右ねじです。

(5) この刃を開きL形レンチでねじははずします。

1.2 タテビキのこの刃の取付け

取りはずしの要領と逆にしますが、取付けねじは対角線上に徐々に締付けてください。

注 ・ この刃の回転方向と刃のむきをまちがえないようご注意ください。

2. ヨコビキのこの刃について ……………

2.1 ヨコビキのこの刃の取りはずし

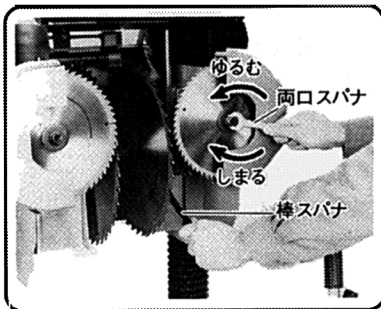


図 20

(1) フランジを付属の棒スパナで固定します。

(2) ヨコビキのこの刃締付ボルトを付属の両口スパナ(17mm)でゆるめます。

(3) 左側のこの刃は左ねじ、右側のこの刃は右ねじです。

2.2 ヨコビキのこの刃の取付け

取りはずしの要領と逆にしますが、この刃取付け軸に確実に入れ、この刃とフランジ面にすきまのないことを確認したうえで確実に締付けてください。

注 ・ この刃の回転方向と刃の向きをまちがえないようご注意ください。

のこ刃の調整方法

△ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

1. ヨコビキのこ刃の前後調整 ………

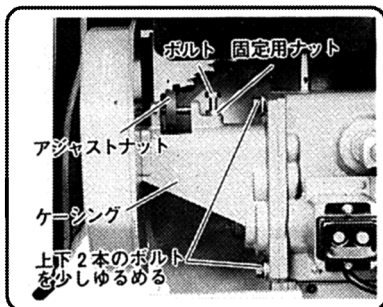


図 21

- (1) 固定用ナットとボルトを付属の両口スパナ（13mm）でゆるめます。
- (2) アジャストナットをまわします。
- (3) 図22の位置になるようヨコビキのこ刃を調整します。

注 • 調整後は確実にボルトを締め付け、固定用ナットで固定してください。

2. ヨコビキのこ刃の左右調整 ………

ヨコビキのこ刃を研磨し、外径が小さくなった場合には、ケーシング取付けボルトを、わずかにゆるめ、ケーシングの上部を動かして調整します。(図21)

3. タテビキのこ刃とヨコビキのこ刃の位置調整 ………

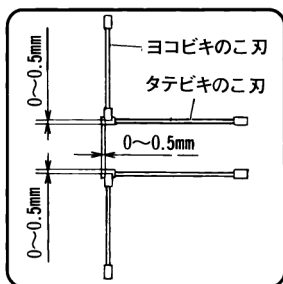


図 22

タテビキのこ刃とヨコビキのこ刃は、図22のように調整してください。

タテビキのこ刃の出張り量は、木材を加工しながら調整してください。ヨコビキのこ刃のへこみ量は、のこ刃を真上から見て目視で調整してください。

4. バイスボードの調整 ………

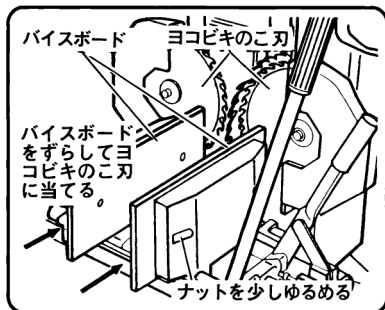


図 23

ヨコビキのこ刃を前後調整(20ページ「1.ヨコビキのこ刃の前後調整」の項参照)した場合、バイスボードの先端とヨコビキのこ刃の位置が合わなくなるため、図23のようにバイスボードをヨコビキのこ刃に突き当てるように調整してください。バイスボードの先端をヨコビキのこ刃で若干切り捨てても結構です。

運搬・移動

運搬・移動をする際は、ヘッドを下げ機体の安定をはかってください。

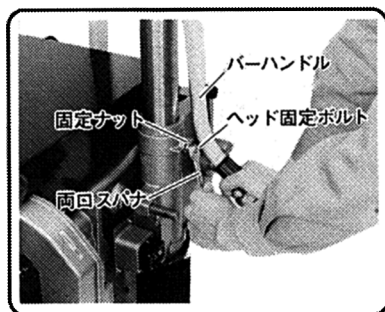


図 24

(1) バーハンドルを下げヘッド固定用ボルトを付属の両口スパナ(13mm)で締付け、ヘッドを固定します。

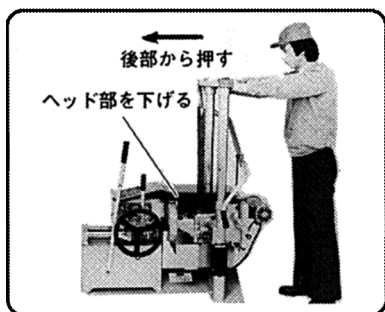


図 25

(2) 後部から押して移動します。

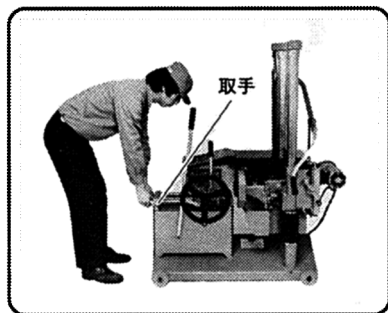


図 26

(3) 方向変換は取手を持って左右に動かしてください。

注 • 土間などで移動する場合は、足場板などの板材をキャスターの下に敷いてください。

⚠ 警告

- 点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

1. のこ刃の点検 ……………

のこ刃は、さびないようによく手入れし、早目に目立てをしてください。のこ刃の切れ味がわるくなったのを、そのままご使用になると、モーターに無理をかけることになり、また能率も低下します。

- 注** • のこ刃先端のチップは、硬くてもろいため、落したり、ぶつかけたりすると破損しやすいため取扱いには十分注意してください。
- タテビキのこ刃は、必ず2枚一緒に目立てをし、外径寸法をそろえてください。

2. カーボンブラシの交換（単相品）……………

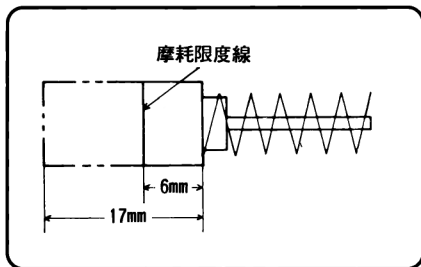


図 27

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますとモーター故障の原因となりますので、長さが摩耗限度線（6mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

- 注** • 新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。

交換方法

カーボンブラシは⊖ドライバーによりブラシキャップ（図2参照）をはずしますと、スプリングと一緒に取り出せます。

3. 各部取付けねじの点検 ……………

各部取付けねじで、ゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと事故の原因になります。

4. 切りくずの排除 ……………

始業点検時はつぎの場所にたまった切りくずを取り除いてください。

- (1) モーター部のブラシキャップ (図2参照) をはずして掃除し、内部の通風もよくします。なお、掃除のときモーター内部に傷をつけたり、水をつけたりしないよう十分ご注意ください。ブラシキャップは掃除後必ずもとどおりに取付けてください。
- (2) ベース上にたまった切りくずを定期的に取り除いてください。(図17参照)
- (3) のこ刃開閉摺動部、バイスプレート摺動部、バイス前後摺動部にたまった切りくずを取り除いてください。(図1, 2参照)

5. 安全カバーの点検 ……………

安全カバーはいつも円滑に動くようにしておいてください。安全カバーの回転部まわりの切りくずを取り除き、掃除後回転部に機械油をさしますと一層動きがよくなります。

6. 注 油 ……………

摺動部、回転部には常に注油し、いつまでも高い精度を維持するようにしてください。つぎの場所は、とくに注油の必要なところです。ご使用前に必ず機械油を注油してください。

注油場所 (図1, 2参照)

- ① ヘッド摺動部
- ② のこ刃開閉摺動部
- ③ バイスプレート摺動部
- ④ バイス前後動摺動部
- ⑤ リンク回転部
- ⑥ ヘッドアーム支点部

7. ベルトの張り調整 ……………

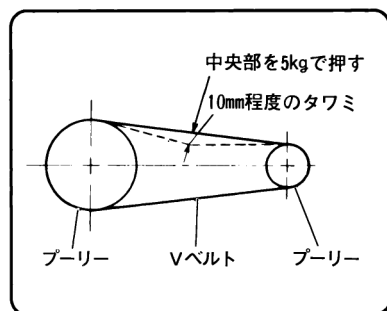


図28

ベルトの張りは図28に示すぐらいが適当です。もし、張り方がゆるかったり、強すぎる場合は次のように調整してください。

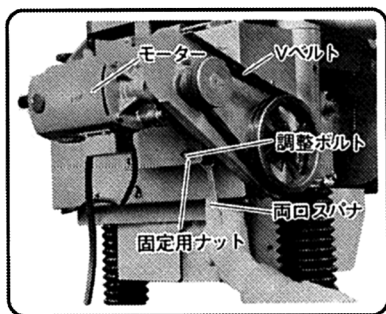


図 29

- (1) 固定用ナットをゆるめ、調整ボルトをまわします。
- (2) 右にまわすとベルトが張り、左にまわすとゆるみます。
- (3) 調整後は、調整ボルトが動かないように付属の両口スパナ (17mm) で固定ナットを締付けてください。

8. 製品や付属品の保管 ………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 子供の手の届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨にかかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発のおそれがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>